

科目名	スポーツ実技（バレーボール）							教職	○
科目区分	総合教育	履修区分	選択	配当年次	1	単位数	1	開講区分	後期
教員名	瀬戸 邦弘（非常勤）								
授業の概要	キーワード： スポーツの楽しさ、仲間づくり、コミュニケーション								
	<p>本授業では受講者がバレーボールの基礎知識、および基本的技術を十分に獲得し、国際ルールに則った競技を行えるようになることを目的としています。あわせて知識や技能だけでなくバレーボールの醍醐味や、楽しさを十分に知ることが大きなテーマとなっています。前半部ではパス、レシーブ、サーブなど基礎技術、レシーブ、トス、スパイクなど基礎から応用までの技術をひとつひとつ正確に身につけます。そして授業の終盤では、身につけた技術の実践機会として試合を実施し、バレーボールを楽しく、そして正確に行えるようになることを目指します。</p>								
到達目標	<p>本授業では、受講者がバレーボールの基礎知識、および基本的技術を十分に獲得し、国際ルールに則った競技を行えるようになることを目的としています。あわせて知識や技能だけでなくバレーボールの醍醐味や、仲間づくりの楽しさを十分に知ることが本授業の大きな目標となっています。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(諸注意、評価基準・方法について) 2. バレーボールの基礎動作とボールコントロール技術 3. 基礎技術(パス、レシーブ、サーブ) 4. 基礎技術(レシーブ、トス、スパイク①) 5. 基礎技術(レシーブ、トス、スパイク②) 6. 集団戦術とグループ内コミュニケーション①(サーブ・レシーブ等) 7. 集団戦術とグループ内コミュニケーション②(サーブ、レシーブ、トス、スパイク等) 8. 集団戦術とグループ内コミュニケーション③(攻撃のバリエーション、ブロック等) 9. 試合での戦術(フォーメーション、ローテーション、ポジションチェンジ等) 10. ゲーム形式の練習① 11. ゲーム形式の練習② 12. リーグ戦① 13. リーグ戦② 14. リーグ戦③ 15. 授業内実技試験 								
評価方法	授業への取り組み姿勢 40%、積極性 20%、授業内実技試験 40%となります。								
講義外での学習	授業で学んだことを、次週までに理解し、実践できるようにしましょう。								
履修上の注意事項	<p>人数制限があります。 受講に際しては積極的に課題に取り組み、周りの迷惑にならないようにしましょう。 ※先修科目： 無し</p>								
教材	<p>◆教科書： 指定なし ◆参考書： 松井素二『バレーボール 基本を極めるドリル（差がつく練習法）』</p>								